

8) 参考資料

～平成 17 年度にフォローアップするその他の指標～

【指標－18】隣接する地域の中心の都市間が改良済みの国道で連絡されている割合 (→124 頁)

定義：隣接する地域の中心の都市間を結ぶルートが、車道幅員 5.5m 以上の国道で改良又は整備されているルート数の割合

中期的な目標：平成 19 年度までに約 77% まで向上する

■地域間交流・観光交流等内外交通の推進

住民生活の利便性向上、地域経済の活性化等に資する地域間交流を支援する道路整備。

H14 実績	H15 実績	H16 目標	H16 実績	H17 目標	H19 目標
72%	73%	74%	74%	75%	77%

【指標－19】日常生活の中心となる都市まで、30 分以内で安全かつ快適に走行できる人の割合 (→125 頁)

定義：地域の中心の都市まで、改良された道路を利用して 30 分以内に安全かつ快適に移動できる人の割合

中期的な目標：平成 19 年度までに約 68% まで向上（日常生活の中心となる都市まで、30 分以内に安全かつ快適に到達できる人口を約 360 万人増加）

■安全かつ快適な移動を実現するための道路整備

市町村合併支援道路事業など地域内の拠点等を効率的に連絡する道路整備により、日常生活の中心となる都市まで 30 分以内で安全かつ快適に走行できる人口（安定到達率）が約 60 万人増加。

H14 実績	H15 実績	H16 目標	H16 実績	H17 目標	H19 目標
63%	64%	65%	65%	66%	68%

【指標－20】「防災上課題のある市街地」の割合 (→126 頁)

定義：人口が集中している市街地のうち、都市基盤が脆弱なため、災害時に道路閉塞等により車輛通行が阻害され、緊急活動等に支障をきたすおそれの高い市街地の面積の割合

中期的な目標：平成 19 年度までに 32% とする

■「防災上課題のある市街地」の解消を図る

震災・火災等の災害に強く、安心・安全で暮らしやすい市街地の整備を進めます。

H14 実績	H15 実績	H16 目標	H16 実績	H17 目標	H19 目標
-	36%	-	36%	34%	32%

【指標－21】路線番号の認識できる交差点の割合 (→127 頁)

定義：都道府県道以上の道路が相互に交わる交差点のうち、交差道路の路線番号あるいは通称名の付されている案内標識の整備されている交差点の割合

中期的な目標：平成 19 年度までに 90% まで向上

■ルート番号表示によるわかりやすい誘導

道路利用者が、迷うことなくスムーズに目的地に到着。

H14 実績	H15 実績	H16 目標	H16 実績	H17 目標	H19 目標
-	56%	65%	60%	69%	90%